

事業名: なかよろずアップ企画

地域と学校をつなぐ市民のチカラ

報告日: 令和4年4月6日(水)

～子どもの学びを豊かにする秘訣とは～

開催日時: 令和4年3月26日(土)

13時00分～16時00分

参加費: 1,000円

対象者: 市民 (広報よこはま3月号掲載)

参加者: 20名

開催場所: なか区民活動センター 研修室 I・II

講師:

横浜市立新井中学校地域学校協働推進員(NPO法人A.S.C.C)高橋由美子氏

横浜市立新井中学校副校長 鈴木 浩氏

第1部 事例発表

横浜市立新井中学校での事例
地域学校推進員の取組みについて、講師の高橋様、
鈴木先生より具体的な事例が発表されました。

- ・花植えボランティアの成り立ちや仕組み
- ・イベントなどの話
- ・予算的なことや活動時間など



▲事例発表時の様子

第2部 交流会

4つのグループに分かれて話し合いと交流会

- ・外国語につながる子どもたちの話
- ・学校の活動や学校課程外(部活など)の話



▲グループワーク時の様子

事例報告・交流会後の感想など

- ・地域と学校をつなぐチカラとは？学校の活動をサポートするにあたり、学校教育と社会教育の違いや役割分担を把握し、地域、教員、生徒、保護者のつながりをもって初めてチカラと言えるのではないかと。また、サポート活動も継続させることが一番難しく、個

人に頼らず、仲間として団体で「やらされ感」ではなく、「楽しい」と思える活動にすることがポイントではないか。

- ・地域の方が協力的でも、学校行事を中心に考えて配慮しないとバランスがとれない
- ・定義を皆が理解しないとうまく続かない

まとめ

「地域と学校をつなぐ市民のチカラ」という内容なので、実際に地域の人材として活動されている方が多く参加されました(青少年指導員や地域学校コーディネーター、元PTA役員など)。また、今後、民生委員や児童委員をやりたい方など、興味を持っている方の参加もありました。

教職員の参加も多く、現場の声も聞くことができました。

最後に、教員の方が、「地域の方が、活動を担ってくださいと、我々職員は、活動量が軽減され、子どもたちに向き合う時間が増える。そうして、将来、教員になりたいと言ってくれる子どもたちが増えることを願う」との感想を話してくださいました。